

私が考える 「平和」とはなにか

もも
福田 百 (神戸YWCA 会員)



「平和」を考えたとき、あらゆる人が排除されない
社会の実現が必要だと考えています

みなさんは、この世界のどんな「格差」に、注目し活動されているのでしょうか。現代社会には、環境・貧困・人権・平和・開発といった、あらゆる社会課題がありますが、私たちは、どんな問題に向き合っているのでしょうか。

私はこれまで、日本YWCA主催のプログラム「日韓ユース・カンファレンス」やその他のボランティア活動、大学での研究活動をさせていただきながら、私は何をすべきなのか、どう動くことができるのか、を考えてきました。そして今、私が特に向き合いたい格差は、貧困です。貧困と言っても、そこには経済的格差もあれば、教育格差、ジェンダーギャップなど様々な格差が複合的に重なり合った問題だと考えています。私が、貧困の問題に意識を向け始めたきっかけは、「相対的貧困」という言葉に触れたことです。私自身、相対的貧困家庭に育ち、子ども時代には、みじめだと感じることも多々あり、自分ではどうしようもない現状になんとか違和感を持ち続けてきたのですが、何に対する違和感なのかかわからないまま過ごしていました。しかし、大学生になる直前に、相対的貧困という言葉と出会い、自身の置かれている状況が見えてきました。私や家族の問題だけではなく、社会構造が私たちを貧困にしていることに気づき、どうすべきなのか考えるようになりました。しかし、私は、周囲の人々の愛や出会いに恵まれ、大学に通い、学びたいことを学ぶことができることに幸せを感じ、何も考えず、うまく適応すれば私は幸せに生きることができる、社会を変えるなんてことは考えないほうが良い、そんな風に思うようになりました。

そんな私が、貧困という問題に向き合うことを覚悟したのは、ある少年の言葉が私の心臓を震わせたからです。その少年は、周囲の人々の支えによって生まれてくることのできた、映画の主人公の話を引き合いに出し、「俺だったら、そんなんでえーの。おらんでいいねん。…もし、おらんかったら、どうなるん？生まれてこんかったら、どうなるん？だってな、俺の家はな、貧乏やし、しんどいし苦しいしどうでもいいねん。死にたい、死んだらえーねん。でも、死のうと思って、地面見たら、高くて怖いねん。」と話してくれました。小学2年生の男の子が、こんな言葉を発するのか！と、その時の衝撃はとても大きいものでした。この少年の語りの力を感じるとともに、どんな人にもこんな思いをさせてはならないと、動くことをためらってはならないと心に誓いました。

私は、「平和」を考えたとき、あらゆる人が排除されない社会の実現が必要だと考えています。現代社会には、あらゆる格差があり、あらゆる人が抑圧・排除されています。貧困者・非貧困者ということだけではありません。人種や民族、ジェンダー、障がい、あらゆる違いがありますが、その違いをリスペクトできる社会になっていくことが平和を求めらる中で、重要になると考えています。

異質なものをおもしろがることのできる社会。その先に、私たちの目指すべき平和があるのではないのでしょうか。

会員のリーダーシップ養成を考える 第2弾

三市YWCA 合同合宿

今回の会員パワーアップ企画では、三市Yの現役運営委員・委員経験者たちが集まって「運営委員」について徹底的に突っ込んで議論します！

9月22日(土) 13:30 ~ 23日(日) 13:00

場所：六甲山YMCA 参加費：7,500円 定員：40人(先着順)

対象：YWCA 会員・会友、運営委員経験者など

申込締切：8月15日(水)

終了後のオプションプログラム「もっと好きになる！珈琲のおはなし」by エキストラ珈琲株式会社 参加費 1,300円(コーヒーとプチスイーツ付)

生き方や価値観を見直したい

速さや強さを競う弱肉強食の「土俵」から降りる

辻 信一さん 講演会



今年の平和集会は、講師に辻信一さんをお招きして、6月9日(土)、神戸市青少年レクリエーションホールにて開催されました。参加者は一般41人、神戸Y23人でした。

今回の集会は、一人ひとりの生き方や価値観を問うことで、平和な社会の実現には何が求められているのかを、皆で考えることを目的としていました。辻さんは、スローな生き方の「弱い生き物」のナマケモノを例にしながら、「遅い者、小さい者、弱い者」から学ぶ

ことの大切さを指摘されました。それには、速さや強さを競う「弱肉強食」の土俵から降りること、そして非暴力で平和、持続可能で循環型の生き方が求められているのでしょうか。また、現在の効率主義、競争主義のなかで、見失われていることに「気づく」ことの大切さも指摘されました。「愛すること」は「時間を無駄にすること」であり、人間本来の創造性や柔軟性を生かすことで平和への手がかりを見つけ出せるのではないかと。参加者からは、「何度か辻さんの話を聞いたが、平和を主体にしているのは初めて」「これからの生き方の指針にしたい」など、様々な感想が寄せられました。

懇親会も20人あまりの参加で、一人ひとりが自己紹介と感想を語り合い、なごやかで平和な雰囲気の中で有意義な時間を共有することができました。神戸YWCAも、お互いに「学び合い育ち合う」ことで、それぞれの生き方や価値観を見直すことが求められているのでしょうか。(平和活動部)

YWCA フェスタ in 京都

5月19日(土)・20日(日)の2日間の日程で開催されました。140人を超えるYWCAの仲間が集い、交流し、語り合い、共にYWCAの未来を考える時間がもたれました。神戸YWCAからも運営委員と職員を中心に8人が参加、全国のYWCAの仲間にも大いに刺激され、たくさんの元気をもらって帰ってきました。

1日目はまずこれまでのYWCAの歩みを振り返る「歴史編」のプレゼンテーションでスタート。ついで2035年を見据えた中長期ビジョンの紹介が続き、YWCAをめぐる内外の現状分析と、これからの方向性が示されました。

また、地域YWCAを主体とした活動(LA=Local Action)のプレゼンと投票も行われ、7つの事業の実施が決定しました。

夜は大交流会で大いに盛り上がり、さらに「ミドル飲み会」などで夜更けまで語り合いました。

2日目は早朝より「モーニング・セッション」と題して、ユースより「南京を考える旅」「日韓ユースカンファレンス」「CSW(国連女性の地位委員会)」の報告がありました。日曜礼拝をはさんで、午前中はYWCAの中長期目標を考える「分科会Ⅰ」、午後は平和、多文化共生、中高YWCAなどのテーマ別およびミドル、ユースなどの世代別に分かれた「分科会Ⅱ」。それぞれの会場に移動し、活発な議論が行われました。最後に分科会での学びを共有し、2035年への思いを参加者全員が言葉にまとめ、再会を誓い合っ、フェスタは幕を閉じました。

神戸のチャリティードリッパコーヒーは好評で、大勢の方々にお買い求めいただきました。また、京都・大阪・神戸の三市Yの合同企画「会員のパワーアップ計画第2弾」も無事第2期LAとして始動が決定しました。

(運営委員・梅澤 昌子)



憲法出前プログラム



今回の出前授業は、阪南大学坪井ゼミで、2コマの時間を頂き実施した。平和活動部では2013年から実施している内容を視点を変えて見直し、学生の「発見」と「気づき」を大切に、グループでの討議と発表を中心とした授業案に作り直した。昨今の社会情勢を踏まえ、同時に、できるだけ学生の皆さんに憲法と自分たちとの関わりを考えてもらえるよう、2018年5月11日の朝日新聞の記事(自民・加藤氏発言おわび)、「人の子の税金で老人ホーム」「3人以上産んで」を使用した。前半は国際コミュニケーション学の2回生13人、後半は1回生の新入生ゼミで17人の参加があった。各授業ともグループに分かれ、新聞記事について自由に話し合う時間をもってもらい、学生の皆さんからは活発な意見が出て来た。また、私たちにとっても今の



グループで話し合う学生たち

若い人たちが抱える問題を認識する機会となった。

終了後には坪井さんからいろいろなアドバイスも頂き、憲法出前授業を今後も続けていくうえでの励みになった。学生の皆さんたちのアンケートでも、一人ひとりが自分の意見をしっかり述べておられ、真剣に受け止めてもらえたことを確認できた。

(平和活動部)

❖ キックオフ・ミーティング

6月16日(土)、キックオフ・ミーティングが開かれた。まず、神戸YWCAに「こんな活動があったんだ!」「こんなに長く続いているんだ!」と驚きと感動の各活動紹介。

つぎに、私たちの活動内容を多くの人に知ってもらおうと、広報担当職員による「よくわかるSNS活用講座」で、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)について学んだ。使い方をすでに知っている方、恐る恐るながらも挑戦しようかとされた方。自分たちの活動の輪をどう広げるかはみんな同じ課題。リアルタイムで活動を紹介できるSNS。新しい広報の手段をみなさんも使ってみませんか!

(運営委員・野村 春美)

あの不思議な光景を見届けよう

VOL.3

6月のキックオフ・ミーティングで、YWCAの歴史をまとめたスライド「女性の自立を求めて」を観た。設立以来、働く女性の教育に力を入れてきたYであるが、アジア・太平洋戦争期には、世界Yとの交流を断ち、機関紙に戦争協力的な記事を掲載するなど、キリスト教団体の本質をゆがめていった。その反省から、二度と戦争を繰り返さないために、平和を求めて働く団体へと大きく性質を変えていったというくだりが印象に残った。

先日、他市Yとの会議の中で「人

や社会課題に関わる中でこそ人は力を得て成長する」との言葉を聞いた。弱さやずるさを持つ私たちではあるが、神戸Yが、様々な課題に関わり揉まれてこそ育まれる「平和と正義を実現する人」を育てる、そんな教育団体であれたらと思う。

さて、7月の豪雨の後、神戸Y会館の6階が雨漏りし、エアコンも壊れてしまった。あの不思議な光景(神戸Yの未来)を見届けるには、修繕費も必要!皆様、引き続き会館メンテナンス募金にご協力ください(とほほ)。

(総幹事 西本 玲子)

はっぴー あるばむ

神戸YWCAにつどう、
外国にルーツを持つ
子どもたちの今を
写真でお伝えます。



7月は、本物の竹で流しそうめん!

2018年度神戸YWCA 標語聖句

「平和を勧める人の心には喜びがある」

(箴言 12章 20節)

今年の標語聖句は「平和を勧める人の心には喜びがある」(箴言 12:20)です。

標語聖句がそれぞれの活動に活かされることを願い、キックオフ・ミーティングでは会員に標語聖句についての想いを聞き、またキリスト教基盤部でも話し合いました。

平和とは、戦争の対極にある状況だけではなく、一人ひとりが生きる力を発見することではないでしょうか。

神の言葉に耳を傾けて平和を作

り出すことは、ある時は自分のお金、労力、心を誰かのために使うかもしれません。しかしそのことを通して平和を実現することができるを知ることは、私たちの心に大きな喜びが与えられます。

共に生かされている中で、キリストの平和をたゆまず伝えていきたいものです。今を生きることを共に喜び平和な世界を目指して、標語聖句によって一人ひとりが強められ、神戸YWCAの活動が広がってゆきますように。

(キリスト教基盤部)



私は3年間神戸市内の大きな保育園で働いていました。たくさん

ん子どもや保護者の方々と関わって行く中で、もっと一人ひとりの子どもにより深い関わりを持ちたいという思いが強くなりました。何園か見学をさせて頂きましたが、私が求めていた、一人ひとりを大切に保育していたのが、神戸YWCA保育園でした。定員12人、一つの保育室という小さな規模ですが、集中してあそぶ姿や、友だちを思いあつて手を差し伸べる姿、悔しくて辛くて大声で泣いている姿など、一つひとつが近くで感じられ、大きな保育園では見逃してしまいそうな子どもの発見や気付きにも同じ目線になつて感じることができると思い、神戸YWCA保育園を選びました。

今までは危険だと思いつめてしまいがちなことでも、保育者が近くに見守っていることで、子どもたちは安心して様々なことに挑戦でき、私たちは保育者も挑戦し続ける小さな背中を見守ることができそうです。これも小規模保育園のよいところだと働いてみて感じました。

小さな身体で、たくさんのお話を吸収して日々成長している子どもたち。そんな子どもたちの発見や気付きを見逃さないよう、毎日近くにいる保育士です。(平田 早貴)

神戸YWCAへのおさそい

神戸YWCA 本館：神戸市中央区二宮町 1-12-10 tel. 078-231-6201
 神戸YWCA 分室：神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

● ちゃいやあらんど 分室

「てらこやちゃいや～夏休みの宿題をしよう！」

8月20日(月) 9時30分～14時30分

参加費 300円(お菓子付き)

「大人の塗り絵(親対象)」 参加費 400円

8月24日(金) 9時30分～14時30分

「盛り付けてアイスで涼しく！」 参加費 500円

8月29日(水) 10時30分～14時30分

● わいわい科学クラブ(小学生対象) 本館

「かさぶくろケットをとばそう」

9月15日(土) 13時～16時 *申込不要

参加費 300円

● 地域のお店くるくる 分室

ちょっとステキなりサイクルファッションのお店

9月20日(木) *第3木曜日(8月は休み)

13時～15時30分

● カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ

毎月第1土曜日 10時～15時

参加費 700円

*昼食はカレーを作って食べます(要予約)。



YWCA オリジナル チャリティー ドリップコーヒー

1袋 200円(寄付を含む)
本館・分室でお求めください。

10個・20個入
ギフトボックス
もあります!



編集後記

「忘れた頃に」ではなく、日常的にやってきている災害。日常生活が覆さされる事態が他人事ではなく、私たちみんなの問題として考え、支え合える社会とは何かを問われている。(N・H)

■ 学院だより

7月30日から3週間「勉強に役立つ日本語クラス」を実施。一人でも多くの外国にルーツをもつ子どもに、日本語教育支援が届き、神戸YWCAが彼らにとってよき居場所となることを願う。年に1度の就業サポート「日本語・就業カススキルアップコース」の募集期間は、7月30日から8月29日。申し込みはハローワークへ。(原田 雅子)

■ 保育園だより

毎月実施している避難訓練。小さい子どもたちも怖がることなく抱かれて避難しています。保育者も訓練に慣れてしまわないで、常に「臨機応変」ができるよう心掛けています。命を守るという毎日の小さな積み重ねが6月18日の地震の時に生かされました。(園長・梅川 玲子)

■ 運営委員会報告

(6月)【報告】理事会報告▶各部・プロジェクトより▶「YWCA フェスタ in 京都」振り返り【議事・協議】▶キックオフ・ミーティング準備確認▶3市YWCA合同合宿での神戸Y担当プログラムについて▶神戸Y指導者養成基金の用途について▶ソウルY

夏季休館日：8月10日(金)～16日(木) *まごの手・保育園を除く



日時：11月3日(土・祝) 11:00～14:30

場所：神戸YWCA本館

今年はコラボでバザーストリート!

日本訪問受け入れについて▶100周年以降の神戸Yのあり方を考える夏のビジョン・ミーティング確認。

(7月)【報告】▶評議員会▶各部・プロジェクトより▶【議事・協議】3市Y合同合宿(全体プログラムの確認・神戸Y担当プログラム協議)▶神戸Y指導者養成基金の用途について▶西日本豪雨災害支援のため募金箱設置を決定。

(書記・岩切 幸子)

■ 評議員会報告

6月18日(月)第8回定時評議員会が開催された。評議員数9人中9人出席。2017年度事業報告および2017年度決算が承認された。また、2018年度予算と事業計画の報告、特にプロジェクトYの取り組みについて報告された。

(総幹事・西本 玲子)

■ 新入会員

木村 文子 長江 麻紀(敬称略)

■ 賛助員

上 紀子 (敬称略)

カフェもぐもぐ若年性認知症啓発フォーラム2018

もぐもぐ亭開演! 落語を楽しもう!

～笑い笑顔は最強の脳トレ～

10月13日(土)

開場 13:30 / 開演 14:00

場所：神戸YWCA会館5階

参加費：1,000円

(同伴者を必要とする方は各々500円)

定員：50人

出演

しょうふくてい ちのすけ

笑福亭 智之介 さん



10/6までにFAXかメール
でお申し込みください

コウベY式 防災講座

地震や豪雨など自然災害が頻発している今、いざという時に互いに助け合えるスキルを一緒に学びましょう。

第1回

やさしい日本語 講座

災害時に日本語がよく分からない外国人と居合わせたら? やさしい日本語があれば大丈夫!

9月8日(土) 14:00～16:00

場所：神戸YWCA会館5階

講師：斎藤 明子

(神戸YWCA学院日本語教師)

× 避難してください

○ にげて!

参加費：2,000円

第2回は・・・ ♪ - ♪ - ♪ ♪ ♪ - もつくろう! (11月)

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ ホームヘルパー

常勤 月給 198,100円～

パート 時給 1,100～1,200円

登録型 時給 1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆ 生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎ 078-231-3156



(有) 佐野葬祭

代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



いーく に みく に
0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

尼崎市潮江4丁目2-2

URL: <http://sanosousai.com>